

酸化還元

試験結果報告書

No.220S-1050
令和2年7月10日

株式会社 Onedum 殿

遠赤外線応用研究会
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 生体の酸化還元電位

試験試料 Air Design Card (シート)

測定条件 1) 測定日時 令和2年7月7日
2) 測定機器 (株)リブアンドラブ社製 唾液酸化還元測定器

試験方法 健康な成年男子(68才)を被験者とし、使用前の酸化還元電位を測定した。次に、Air Design Card (シート) (10cm角)を持った状態で30分間使用後の酸化還元電位を測定した。

試験結果

生体酸化還元電位測定値

		増減値
使用前	88	-9
30分間使用后	79	

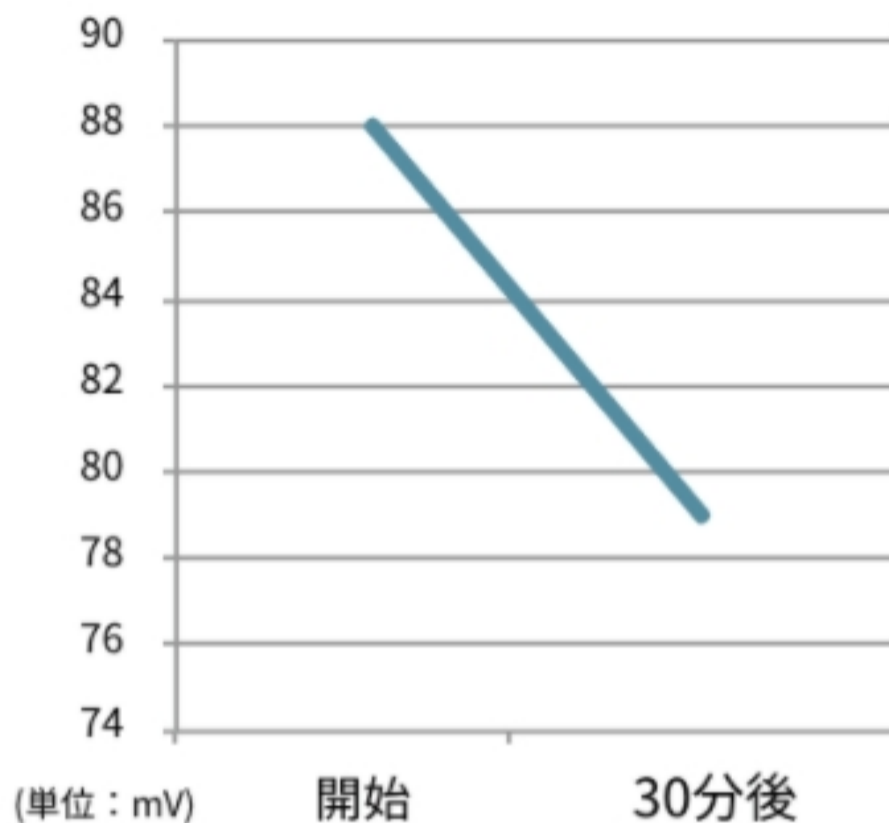
(単位:mV)

考察 生体の健康度を示す目安の一つである酸化還元電位は、Air Design Card (シート)を30分間使用後で9減少した。この要因が個人差によるものかどうかは分からないが、少なくともAir Design Card (シート)を長期間使用することで、生体の酸化還元電位が増加する可能性が示唆された。

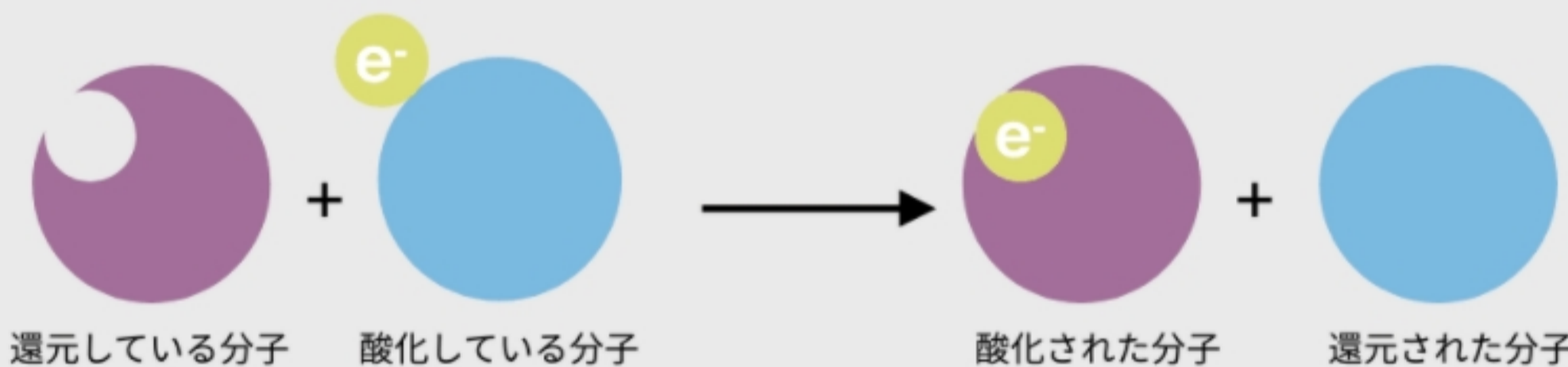
本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上

30分後の酸化還元電位の推移



老化の促進を遅らせ、体調を良好な状態に維持することを意味します。結果は30分後に-9mVなので、還元力が増す傾向となった。



還元反応と酸化反応は常に共にあります。

- ・ 電子を失う = 酸化
- ・ 電子を獲得する = 還元

※ 第三者機関：遠赤外線応用研究会調べ